

子どもの本だな 15

このページは子どもたちにすすめたい本をとりあげています。本を選ぶときの参考にしてください。

ちいさなヒッポ

マーシャ・ブラウンさく

うちだりさこやく (偕成社)

かばの子ヒッポは、生まれたときからお母さんのそばを離れたことはありません。ヒッポがことばを覚えるときがきました。お母さんの「グアオ、ヒッポ！」を手本に繰り返します。「グググッ！グアオ！」。ヒッポは何度も何度も練習し、しまうまやかば、水牛に会うと「グアオ」と声をかけました。

ある日、ヒッポが水面にしだれかかる木の葉と遊ぼうと、お母さんのそばを離れたとき、大きなわにが飛び出し、ヒッポのしっぽにかみつきました。ヒッポは深い水の底にぐいぐい引っ張られました。「ググググアオ！たすけて！」ヒッポの叫び声をききつけたお母さんが、わにをくわえ、振り回しました。

落ち着いた色合いながら、見開きいっぱいに広がる版面は迫力があり、ヒッポ親子の表情や動き、水辺の様子をいきいきと伝えます。読んでもらえば3歳くらいから楽しめます。(竹内)

かぎのない箱

ボウマン、ピアンコ文 瀬田貞二 訳 (岩波書店)

欲張りな商人アーナスは、旅の途中、貧しい農家に宿をとりました。農家に生まれたばかりの赤ん坊が自分の跡継ぎになるという占いを聞いたアーナスは、赤ん坊を養子にしたいと申し出、森の中に置き去りにしました。十数年後、旅の途中に立ち寄ったきこりの家で、朗らかな若者に会います。その若者は、アーナスが置き去りにした赤ん坊、アンチでした。アーナスは大事な届け物をアンチに頼みます。それはアンチの命を奪うように命令した手紙でした。ところが道中で山賊が手紙を書き換えたため、アンチはアーナスの娘と結婚します。その後、北国の女王ロウヒに会う困難な旅をやり遂げ、アンチは豊かな知恵を得ました。

(「アンチの運命」)

北欧の国フィンランドの昔話集。不思議な魔法の旅に出る話が多く、厳しい自然の恵みを大切にする深い知恵に出会う物語です。表題作「かぎのない箱」「アンチの運命」ほか5話。読んでもらえば6歳くらいから楽しめます。(西村)

地下水

謹んで初春のお喜びを申し上げます。

本年もよろしくお願いたします。

先日、利用者から、文章のお手本になるような本はないかと尋ねられた。中学校の教師をされているその方は、生徒のノートに文を書くときに、書き手の声が聞こえてくるような、情景が目に見えるかぶような文章を書きたい、いわゆるHOW TO本を求めているのではないと言われる。思いついたのが、語りかけるような言葉で綴られたエッセイや専門的な内容をわかりやすく説き明かした記事が多く掲載されている「暮らしの手帖」。バックナンバーを「参考に見てみます」と借りて行かれた。またある日、若いお母さんに「心がやすらぐような小説はありますか」と尋ねられた。元気がいっぱい二人のお子さんを抱え少しくたびれておられるのかなと思ひ、小説を二冊手渡した。おふたりにはその後お会いしていないけれど、役に立っただろうか。

買い物をする「ポイントカードはお持ちですか」と尋ねられることが多くなった。台紙にスタンプを押す方式のものはいいのだが、プラスチックのカードにポイントが貯まるタイプのもは どうも抵抗がある。生産者にとって簡単にデータ収集できる利便性の高いシステムだが、やはり目の前にいる人の言葉に耳を傾けてこそ、その人の求めているものを差し出すことができるのではないかと思うのだ。

今年も、人と本の橋渡しに努めたい。

(片木)

『吃音を生きる 言葉と向き合う私の旅路』 キャサリン・プレストン著

辻 絵里 訳 東京書籍 328頁 2014年8月刊 1,600円 (請求記号) 496.9

国を問わず、百人に一人といわれる吃音人口。本著は、七歳の時に自分が吃音することに気づいたイギリス人女性が、吃音に悩み、戦い、受け入れるまでの自叙伝である。

頭の中では言いたいことがわかってはいるのに、喉に栓を詰め込まれたような状態。呼吸は苦しく、不安はつねに、屈辱感に打ちのめされる。キャサリンは、自分が吃音している瞬間をこう表現する。元々、人と話すことやジョークが大好きな彼女だったが、「黙っていたら普通の子」に見えるという理由で沈黙を選んだ。

社交的だった娘が自信を失い、陰鬱になっていくのを心配した両親は「スピーチ・セラピー」をすすめた。気持ちには反発しながらも、テクニクを学び、完全に流暢に話せるようになるのだが、わずかに二週間後、吃音が再び戻ってきた。しかも前より悪化して。

吃音は、成長とともに自然に治る人もいるし、セラピーで「回復」する人もいるが、キャサリンはどちらでもなかった。「吃音がなくなれば幸せな人生が開ける」と信じ、吃音の存在を否定し、吃音者ではないようにふるまった。しかし、隠せない吃音は、友人たちとの会話でジョークをからまわりさせ、表情の見えない電話では、緊張と不安のためパニック状態になってしまった。

再びセラピーを受け、自分の状態を打開したくなった彼女は、会社を辞めてアメリカに渡り、できるだけ多くの吃音者や研究者にインタビューをし、本を書くことを決意する。

十ヶ月にわたるインタビュー旅行の間に、キャサリンは、様々な職業についている吃音者と話し、生涯の伴侶と巡り会い、吃音を自分の一部と考えられるようになる。「現在の私は、吃音に奪われたものより吃音が与えてくれたもののほうがずっと多いとわかっている」という言葉が心にひびく。

同時期に読んだ『自閉症の僕が跳びはねる理由』(エスコー出版部)と重なり合う部分も多く、内に言葉をもちながら、話すという表現ができない人たちを知り、理解するきっかけとなる本である。

(池田)

お知らせ

講演会

「昔話が語る

子どもの成長」

子どもたちが好んで聞く昔話には、どんなメッセージがこめられているのでしょうか。子どもの成長にとって昔話とは？長年、昔話を研究されてきた小澤さんにお話をうかがいます。

講師：小澤俊夫さん
筑波大学名誉教授

日時：2015年2月20日(金)
13:30~15:30

場所：文化会館研修室

定員：100名

申込要：図書館まで

1月・2月の移動図書館(いずれも木曜日です)

1月	2月					
8日	12日	塚森 地域内 10:30~10:50	沖代 地域内 11:00~11:20	福地(三反長) 地域内 14:30~14:50	米田 公会堂 15:00~15:20	竹広南 公民館 15:30~15:50
15日	19日	岩見構下 公民館 10:30~10:50	岩見構上 公会堂 11:00~11:20	原池団地 公民館 15:00~15:20	山田 掲示板前 15:30~15:50	原 太田東地区農村 交流センター 16:00~16:30
22日	26日	広坂 公民館 10:30~10:50	上太田 公民館 11:00~11:20		吉福 公民館 15:30~15:50	太子 ニュータウン 公民館 16:00~16:30

カレンダーの×印は休館日です。
開館は10時~18時まで。
金曜日は20時まで開館しています。

1月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
				×	×	×
4	×	×	7	8	9	10
11	×	×	14	15	16	17
18	×	×	21	22	23	24
25	26	×	28	29	30	31

2月の開館日

日	月	火	水	木	金	土
1	×	×	4	5	6	7
8	9	×	×	12	13	14
15	×	×	18	19	20	21
22	23	×	×	25	26	27
						28

